

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

新高小	学校	児童数	99
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	19.23	19.58	35.93	32.51	37.22	9.17	153.64	22.56	53.71
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	18.33	18.05	37.83	32.50	34.90	9.58	142.90	12.93	53.36
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

体育合計点については、男子が大阪市平均・全国平均を上回り、女子が大阪市平均を上回った。また、課題になっていた柔軟性については改善が見られ、男子は、長座体前屈が、大阪市平均・全国平均を上回り、女子が大阪市平均を上回った。ただまだ、持久力に課題があり、「20mシャトルラン」と「反復横とび」は、大阪市平均・全国平均を下回った。質問項目「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」の回答状況は、肯定的な回答をする児童の割合が男子91.2%、女子85.7%と男女ともに全国平均を下回った。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、男子が大阪市平均・全国平均を下回り、女子が大阪市平均・全国平均を上回った。女子が全体的に運動不足であることが分かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、機敏性や持久力の向上のために、「なわとび週間」や「かけ足週間」、神崎川河川敷での「かけ足大会」などの運動に関する取り組み内容の工夫している。また、鉄棒・なわとびカードを作成することにより、子どもたちの体力向上の意識を高める取り組みを行っている。また、大なわ大会を開き、児童の運動に対する関心意欲を高めるとともに、苦手意識の克服に努めてきた。体育科の学習時間以外にも休み時間を活用して体を動かすことのできる学級遊びを取り組んだり、日常的に運動に親しむ機会も多く設けたりするようにしている。そして、走力・筋力を高められる運動をしたり、準備運動の中で柔軟力を高めるような動きを取り入れたりして、怪我をしにくい体作りをし、子どもに身体の調整力を高める意識を養うための体操を取り入れている。また、区役所や諸機関と連携して、専門的な知識技能をもった講師を招聘し授業を実施したり、教員に体育実技の能力向上につながる研修に参加したりして体力向上を図っている。ただ、持久力には、課題があるので、今後も引き続き取り組みを進めていく必要がある。